



## 2021年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2021年2月8日

上場会社名 太陽誘電株式会社

上場取引所 東

コード番号 6976 URL <http://www.ty-top.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 登坂 正一

問合せ先責任者 (役職名) 上席執行役員 経営企画本部副本部長 (氏名) 福田 智光

TEL 03-6757-8310

四半期報告書提出予定日 2021年2月12日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年3月期第3四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	221,449	3.4	30,326	2.0	29,605	4.5	19,825	0.9
2020年3月期第3四半期	214,095	3.2	29,745	12.3	28,329	5.7	19,998	0.3

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 23,032百万円 (29.7%) 2020年3月期第3四半期 17,759百万円 (3.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	157.96	157.50
2020年3月期第3四半期	158.53	158.13

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第3四半期	382,448	229,556	59.9	1,823.63
2020年3月期	343,122	210,454	61.2	1,672.40

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 228,896百万円 2020年3月期 209,891百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期		11.00		15.00	26.00
2021年3月期		15.00			
2021年3月期(予想)				25.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

### 3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	295,000	4.5	38,000	2.2	37,000	5.2	24,500	35.9	195.19

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期3Q	130,218,481 株	2020年3月期	130,218,481 株
期末自己株式数	2021年3月期3Q	4,701,523 株	2020年3月期	4,715,775 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期3Q	125,511,704 株	2020年3月期3Q	126,150,221 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。  
決算説明会にて使用した資料等については、開催後速やかに当社のホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
3. 補足情報 .....	8
(1) 製品別売上高 .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(2020年4月1日から2020年12月31日まで)における当社グループを取り巻く経営環境は、新型コロナウイルス感染症の世界的拡大の影響により経済活動が抑制され、第1四半期連結会計期間において世界景気は極めて厳しい状況でしたが、徐々に持ち直しの動きがみられました。先行きについては、回復傾向が続くことが期待されますが、感染症の動向や各国の通商問題、金融資本市場の変動等の影響を注視する必要があります。

当社は、新型コロナウイルスの感染拡大を防止し、従業員や取引先をはじめとするステークホルダーの皆さまの健康と安全を考慮し、BCP(事業継続計画)に基づいて各種対応策などを実施しています。国内外の生産拠点においては、各国政府および自治体の指示や指導に従いながら、感染防止策を徹底した上で生産活動を継続しています。また、生産部門以外の従業員につきましては、各国政府および自治体の感染拡大防止に関する指示や要請に基づき、地域の感染状況に応じて在宅勤務などを実施することで業務の遂行と感染リスクの低減に取り組んでいます。

今回の新型コロナウイルス感染症による非常事態により、社会の在り方や経営環境にさまざまな変化が生じています。当社グループは739億59百万円の現金及び預金を有し、自己資本比率は59.9%と健全な財務体質を維持しております。さらに、複数の金融機関との間で締結しているコミットメントライン契約額は300億円であり、不測の事態への対応手段を確保して事業を継続してまいります。

当社グループは、研究開発力や生産技術の強みを活かした最先端商品および高信頼性商品に、コア技術を活かしたソリューションビジネスを加え、自動車、情報インフラ、産業機器、ヘルスケア、環境・エネルギーなどの注力市場を攻略することにより、中期目標の達成および経営ビジョンの実現を目指しています。さらに、収益性の向上や将来の部品需要の増加に 대응する体制を構築するため、ものづくり力の強化を進めています。生産能力の増強に加え、要素技術の高度化と生産工法の変革を進めることで、生産効率の向上を加速していきます。

当第3四半期連結累計期間の連結売上高は2,214億49百万円(前年同期比3.4%増)、営業利益は303億26百万円(前年同期比2.0%増)となりました。2020年3月から5月にかけて、新型コロナウイルス感染症の影響によりフィリピン、マレーシアの生産子会社における稼働制限が生じたため第1四半期連結会計期間の業績は低調でしたが、7月以降のスマートフォン向けや自動車向けなどの需要拡大により、増収増益となりました。経常利益は、為替差損10億42百万円などにより296億5百万円(前年同期比4.5%増)となりました。また、海外子会社における新型コロナウイルス感染症関連損失など特別損失32億66百万円を計上した結果、親会社株主に帰属する四半期純利益は198億25百万円(前年同期比0.9%減)となりました。

当第3四半期連結累計期間における期中平均の為替レートは1米ドル106.53円と前年同期の平均為替レートである1米ドル108.90円と比べ2.37円の円高となりました。

製品別の売上高は次のとおりであります。

#### [コンデンサ]

積層セラミックコンデンサなどが含まれます。

当第3四半期連結累計期間は、通信機器向けの売上が前年同期比で減少したものの、民生機器向け、情報機器向け、自動車向け、情報インフラ・産業機器向けの売上が前年同期比で増加しました。その結果、売上高は1,445億67百万円(前年同期比8.9%増)となりました。

#### [フェライト及び応用製品]

巻線インダクタ、積層チップインダクタなどの各種インダクタ商品が含まれます。

当第3四半期連結累計期間は、自動車向けの売上が前年同期比で減少したものの、情報機器向け、通信機器向け、情報インフラ・産業機器向けの売上が前年同期比で増加しました。その結果、売上高は310億62百万円(前年同期比4.7%増)となりました。

#### [複合デバイス]

モバイル通信用デバイス(FBAR/SAW)、電源モジュール、高周波モジュール、部品内蔵配線板「EOMIN<sup>TM</sup>(イオミン)」、関係会社における実装事業などが含まれます。

当第3四半期連結累計期間は、モバイル通信用デバイス(FBAR/SAW)や電源モジュールなどの売上が前年同期比で減少したことにより、売上高は337億17百万円(前年同期比12.6%減)となりました。

#### [その他]

アルミニウム電解コンデンサ、蓄電デバイスなどが含まれます。

当第3四半期連結累計期間の売上高は121億1百万円(前年同期比7.7%減)となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に対して393億25百万円増加しました。そのうち流動資産は291億3百万円増加しており、主な要因は、現金及び預金の増加143億36百万円、受取手形及び売掛金の増加110億22百万円、仕掛品の増加13億48百万円であります。また、固定資産は102億22百万円増加しており、主な要因は、有形固定資産の増加90億62百万円であります。

負債は202億23百万円増加しました。主な要因は、長期借入金の増加180億42百万円、支払手形及び買掛金の増加19億75百万円であります。

純資産は191億1百万円増加しました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の連結業績予想は以下のとおりです。(前年同期比)

	連結累計期間
売上高	295,000百万円 (4.5%増)
営業利益	38,000百万円 (2.2%増)
経常利益	37,000百万円 (5.2%増)
親会社株主に帰属する当期純利益	24,500百万円 (35.9%増)

当第3四半期連結累計期間の業績は、電子機器を活用した在宅勤務や家庭学習の増加、スマートフォンの生産に向けた部品取り込み、自動車の生産回復などにより、想定を上回る高水準で推移しました。当第3四半期連結累計期間の実績及び今後の需要予測等に基づき、通期業績予想を上方修正いたしました。

なお、新型コロナウイルス感染症の影響につきましては、第1四半期連結会計期間にフィリピン、マレーシアの生産子会社における稼働制限が生じたものの、第2四半期連結会計期間以降は通常稼働に回復し、第4四半期連結会計期間も通常どおりの稼働状況が継続する前提としています。また、第4四半期連結会計期間の期中平均為替レートの前提は1米ドル103円です。

新型コロナウイルス感染症の影響による不透明さは依然として続いておりますが、中期的には電子部品の需要が増えていくというトレンドに大きな変化はないと想定しています。当社が注力すべき市場と位置付けている自動車、基地局通信装置・データセンタなどの情報インフラにおいて電子化・電装化や高性能化が進展し、大型・高信頼の電子部品の需要が拡大していくと見込んでいます。また、5Gスマートフォンなどを中心とした通信機器の高機能・高性能化が続き、高い技術力を必要とする最先端商品が増加すると考えています。それらの需要に備え、また、将来の成長に不可欠な投資を継続していきます。一方、今後のリスク対策として、より強固な分散生産の体制構築やAIなどを活用した生産効率の改善にも努めていきます。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	59,622	73,959
受取手形及び売掛金	64,680	75,702
商品及び製品	18,134	17,976
仕掛品	28,829	30,177
原材料及び貯蔵品	15,624	16,528
その他	5,220	6,966
貸倒引当金	△182	△276
流動資産合計	191,930	221,033
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	97,082	109,101
機械装置及び運搬具	278,081	296,033
工具、器具及び備品	27,578	29,027
土地	12,661	12,775
建設仮勘定	18,307	13,132
減価償却累計額	△289,311	△306,606
有形固定資産合計	144,400	153,463
無形固定資産		
その他	1,293	1,315
無形固定資産合計	1,293	1,315
投資その他の資産		
投資有価証券	2,671	3,345
その他	3,153	3,291
貸倒引当金	△326	-
投資その他の資産合計	5,498	6,636
固定資産合計	151,192	161,414
資産合計	343,122	382,448

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	26,603	28,578
短期借入金	19,250	19,250
1年内返済予定の長期借入金	2,663	2,462
未払法人税等	1,903	3,343
賞与引当金	4,576	2,003
役員賞与引当金	233	251
その他	29,103	27,912
流動負債合計	84,333	83,802
固定負債		
長期借入金	34,752	52,795
役員退職慰労引当金	49	40
退職給付に係る負債	4,200	4,699
その他	9,332	11,554
固定負債合計	48,334	69,089
負債合計	132,667	152,891
純資産の部		
株主資本		
資本金	33,575	33,575
資本剰余金	49,903	49,903
利益剰余金	150,263	166,187
自己株式	△8,596	△8,573
株主資本合計	225,146	241,092
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	430	1,173
繰延ヘッジ損益	△82	10
為替換算調整勘定	△14,779	△12,639
退職給付に係る調整累計額	△824	△740
その他の包括利益累計額合計	△15,255	△12,196
新株予約権	563	659
純資産合計	210,454	229,556
負債純資産合計	343,122	382,448

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
売上高	214,095	221,449
売上原価	147,804	155,613
売上総利益	66,291	65,835
販売費及び一般管理費	36,545	35,509
営業利益	29,745	30,326
営業外収益		
受取利息	271	91
受取配当金	145	53
助成金収入	94	914
その他	112	162
営業外収益合計	623	1,221
営業外費用		
支払利息	263	273
持分法による投資損失	480	272
為替差損	996	1,042
休止固定資産減価償却費	177	207
その他	122	146
営業外費用合計	2,039	1,941
経常利益	28,329	29,605
特別利益		
固定資産売却益	146	53
投資有価証券売却益	16	15
受取保険金	1,005	-
特別利益合計	1,168	68
特別損失		
固定資産除売却損	452	425
減損損失	76	84
災害による損失	3,371	-
投資有価証券評価損	17	-
事業構造改善費用	-	434
独占禁止法関連損失	426	-
新型コロナウイルス感染症関連損失	-	2,083
その他	15	239
特別損失合計	4,360	3,266
税金等調整前四半期純利益	25,137	26,407
法人税、住民税及び事業税	4,020	5,279
法人税等調整額	1,118	1,303
法人税等合計	5,139	6,582
四半期純利益	19,998	19,825
親会社株主に帰属する四半期純利益	19,998	19,825



(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益	19,998	19,825
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△80	753
繰延ヘッジ損益	△28	92
為替換算調整勘定	△2,161	2,280
退職給付に係る調整額	31	80
その他の包括利益合計	△2,239	3,207
四半期包括利益	17,759	23,032
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	17,759	23,032

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

3. 補足情報

(1) 製品別売上高

製品区分	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)		当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)		増減	
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	増減率 (%)
コンデンサ	132,719	62.0	144,567	65.3	11,848	8.9
フェライト及び応用製品	29,680	13.9	31,062	14.0	1,382	4.7
複合デバイス	38,582	18.0	33,717	15.2	△4,864	△12.6
その他	13,114	6.1	12,101	5.5	△1,013	△7.7
合計	214,095	100.0	221,449	100.0	7,353	3.4

(注) 上記金額には、消費税等は含まれておりません。